

遺伝学若手の会第六回研究交流会

「専門性の変身術」報告書

2023年12月8日

●概要

2023年12月5日に神戸大学にて、第六回研究交流会「専門性の変身術」を開催いたしました。参加者は25名(うち幹事7名)でした。今回は招待講演会、及びフラッシュトークを行いました。招待講演では、キャリアコンサルタントの板倉朋宏先生、理研食品株式会社の佐藤陽一先生にご講演いただきました。

板倉先生には、「研究室から始まる冒険」をテーマにお話しいただきました。人事で採用担当のお仕事をされている経験を踏まえ、企業はどのような人材を求めているか、博士号をとった学生と企業はどのようにマッチングしているか、どのような能力を育成しているとよいかなど、これからのキャリアを考えるうえでとても興味深いお話をいただきました。

佐藤先生には、「『死の谷』を越えるための企業研究」をテーマにお話しいただきました。企業研究者としてのご経験、企業で行う研究とアカデミアで行う研究とのゴール等の違い、基礎研究を製品開発につなげることに成功した実例などをお話しいただきました。企業での研究の意味を考えるうえでとても興味深いお話でした。

講演後は活発な質問とディスカッションがあり、若手研究者のキャリアへの興味関心の高さを実感するものでした。



参加者のフラッシュトークでは、全員がスライド1枚を用いて1分間、研究や趣味に関して自己紹介を行いました。フラッシュトーク後に会場を移動して行なった情報交換会では先生方にも参加いただき、第一部に引き続いて活発な交流が行われました。ご講演内容に関する先生方への質問や個別相談も含めた深い交流が行われていた他、フラッシュトークの話題を起点に参加者同士でも交流が生まれ、当会開催の目的である若手研究者の交流をより促すことができたと思います。



●参加者の感想

参加者アンケートでは、13名の回答を頂きました。アンケート回答者の76.9%から満足度5の高い評価を得ました(2023/12/10現在)。以下に頂いたコメントの一部を紹介します。

- ・時間が短くまとまっていたので参加しやすかった
- ・楽しかったのと、人数が多すぎないことがよかったです。
- ・講演者のセレクトがとても珍しくて面白かったです。もうちょっと早い時間だと嬉しいです。(20:00から懇親会は時間的にちょっとつらいです。)
- ・将来設計に非常に参考になりました
- ・講演者のお二人のご経歴がアカデミアの間から見ると変わっていて非常に勉強になりました。
- ・フラッシュトークについて、個人的に興味がある専門分野の参加者が多かったので、研究内容についてもっと深く話が聞きたいと思った。
- ・若手の会士との交流あったら面白いですよねーっていう話が、前に参加した某学会で出ていました。

●さいごに

遺伝学若手の会第六回研究交流会「専門性の変身術」は、日本遺伝学会の後援により開催されました。心より御礼申し上げます。また、講演をご快諾いただいた板倉朋宏先生、佐藤陽一先生に改めて御礼申し上げます。

(文責・古林真樹)